

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村core		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内・室外ともに十分に体を動かせる環境が確保されています。	子どもの特性や運動能力などを考慮し、場合によっては集団での活動と個別での活動を分けて支援しています。室内・室外の施設を使い分け、様々な面で運動能力が向上するよう活動内容を工夫しています。	個の特性やそれぞれの能力に応じ、運動能力の向上及び精神的なサポートを行っていきます。活動内容が固定化されないよう、日々職員間でプログラムを吟味し、変更してまいります。
2	日頃から子ども理解に努め、一人ひとりの特性に応じた支援を行っています。	子どもの特性に対して、保育士や理学療法士、児童指導員、児童発達支援管理責任者のそれぞれの目線から見立てをつけ、日々情報を共有しながら個々に合った支援を行っています。	支援会議だけでなく毎日の振り返りの中で、子どもに関する小さな気づきを共有してまいります。職員間での連携を強化することで、子どもの成長に繋がります。
3	天候やその日の利用人数などを考慮し、臨機応変に活動内容を変更しています。	1日の利用人数は少ないですが、個別の活動と集団での活動とプログラムによって変えています。また、天気の良い日には事業所外に出かけるなど活動内容に幅を持たせています。	天候や利用人数の変更など、常に様々な場合を想定して活動プログラムを設定します。また、内容が固定化されないよう日頃から職員間で意見を出し合い、できることを考案してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他の保育園等との交流がない。	平日の昼間という時間帯を考えると、保育園児は一般的にお昼寝の時間を設定しているところが多く、交流が難しい。また、短い活動時間の中で地域のイベントや催しに参加することも難しい。	活動時間が短いため、保育園との交流は難しいところがありますが、今後は事業所内での活動に留まらず、外での活動にも目を向け、地域の施設を活用するなど内容を工夫してまいります。
2	事業所の目の前が道路で車の通りが多い。	立地の問題は変えることができない。	子どもの特性は全職員間で把握し、手を繋ぐ等の支援を徹底しています。また、活動で室外遊びを取り入れる際は、その都度職員の配置を意識し、死角が発生しないように支援にあたっています。
3	保護者会が開催されていない。	事業所がオープンしてまだ1年未満ということもあり、保護者会の機会をとることができていなかった。	今年の3月20日に、フリースマイル3事業所合同による保護者会と発表会、親子レクリエーションの場を設けています。直接保護者の方々の意見を聞く良い機会になると考えています。